国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令 和 ８ 年 11 月 27 日
総合政策局経済安全保障・海洋政策課
海事局海洋・環境政策課

国際海運のカーボンニュートラルのための国際条約の策定に向けて

～国際海事機関（IMO） 第85回海洋環境保護委員会（11/30～12/4）の開催～

本年11月30日～12月４日に、国際海事機関（IMO：ロンドン）において、第85回海洋環境保護委員会（MEPC）が開催されます。
本会合では、「2050年頃までに国際海運からの温室効果ガス（GHG）の排出ゼロ」の実現を目指し、新たな温室効果ガス（GHG）排出削減対策等の合意に向けた議論が行われる予定です。

今次会合の主な審議予定事項は次のとおりです。

1. 国際海運からのGHG削減のための更なる対策

- IMOは、MEPC80（2023年７月）において、「2023 IMO GHG削減戦略」を採択し、国際海運からのGHG削減目標として「2050年頃までにGHG排出ゼロ」等を掲げています。
- 本目標を達成するための具体的なGHG削減対策として、船舶の使用燃料を段階的にGHG排出量の少ない代替燃料に転換する燃料規制制度を含む海洋汚染防止（MARPOL）条約改正案の議論が行われています。
- 昨年10月に開催された第２回MEPC臨時会合では、一部の国から条約改正案への反対が示されたことを踏まえ、条約改正案の採択審議が１年間延期されましたが、我が国は加盟国との対話及び加盟国間の歩み寄りを促すため、条約改正案の修正案を提出するなど、各国の合意形成を目指し交渉を牽引してきたところです。
- 今次会合では、新たなGHG排出削減対策の合意に向けた議論が行われる予定です。合意に至った場合には、条約改正案の採択審議のために第２回MEPC臨時会合が12月４日に再開される予定です。

2. その他

- 船舶バラスト水規制管理条約附属書の改正、統合ビルジ水処理システムに関するMARPOL条約附属書Ⅰの改正、原油タンカーの圧力・真空弁に関するMARPOL条約附属書Ⅵの改正、非炭素燃料（水素、アンモニア等）の混焼エンジンに関するNOxテクニカルコードの改正について採択の審議が行われる予定です。
- 船舶バラスト水規制管理条約関連文書について、バラスト水処理装置の性能確認試験の強化等に関する議論が行われる予定です。
- 国連公海等生物多様性（BBNJ）協定の実施支援に向けた議論が行われる予定です。

＜問合せ先＞ 代表：03-5253-8111
海事局海洋・環境政策課 堀井、犬飼
直通：03-5253-8118
（内線： 43-922、43-925）

総合政策局経済安全保障・海洋政策課 山﨑、木島
直通：03-5253-8266
（内線：24-362、24-363）